

	発行者の略号	教出	教芸
	書名	小学音楽 おんがくのおくりもの1 音楽のおくりもの2～6	小学生のおんがく1 小学生の音楽2～6
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	「主体的・協働的に見通しをもって学習を深める力を育む教科書」「音楽的な見方・考え方を働かせる学習を具現化した教科書」「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する教科書」の3つの基本的な考え方で編集されている。	子どもたちの心が音楽で通い合い、学びと社会がつながることを願い、「音楽で生活を豊かにする心を育む教科書」「音楽科の確かな学力を育む教科書」「主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促す教科書」の3つの基本的な考え方で編集されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① ステップアップしていけるような教材の配列がされている。スキルアップ教材が全学年で配置されている。学習の振り返りや資料のアイコンがあり、わかりやすくなっている。 ② 「まなびナビ」が示され、順を追って考えながら学習できるようになっている。 ③ 世界の多様な音楽を取り入れている。現代社会における音楽の果たす役割を「音楽にできること」等で紹介している。協力しながら取り組む教材を取り入れている。	① ステップアップしていけるような教材の配列がされている。キャラクターが設定され、わかりやすくなっている。演奏家のアドバイスや先生方のアイデアが取り入れられ示されている。 ② 考える観点吹き出し等で示され、考えながら学習できるようになっている。コラムもある。 ③ 世界の多様な音楽や地域に密着した音楽を取り入れている。現代社会における音楽の果たす役割を紹介している。協力しながら取り組む教材を取り入れている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	① 市の基本方針に関連している	① 市の基本方針に関連している
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 学び方を示唆する「まなびナビ」や「学びあう音楽コーナー」を示し、主体的・対話的に学習が深められるよう工夫されている。 ② 各学年の既習曲を英詞でも掲載し、外国語に親しむ工夫がされている。モジュール学習に対応できるよう配慮されている。 ③ 鑑賞教材で気付きを書きとめたり、意見を交換したりする学習が設定されている。歌詞の意味を写真や解説で理解できるように構成されている。 ④ 共通教材の写真や資料が充実している。「富士山」では、写真だけではなく、北斎の絵なども掲載し、日本の文化に触れることができるように工夫されている。 ⑤ 体を動かしながら曲の理解ができるように工夫している。箏を演奏する体験など、日本の音楽に触れる活動が設定されている。 ⑥ 幼児期に触れたであろう教材群がイラストで示されている。また、中学校で学ぶ内容を発展的に扱えるようになっている。 ⑦ 「まなびリンク」のあるページでは、ウェブを使って学びを深めることができる。 ⑧ 打楽器の持ち方の写真があり、奏法が分かりやすい。文字の大きさや配色など、見やすく工夫されている。 ⑨ 「音楽のもと」で共通事項を繰り返し示し、意識して取り組めるようにしている。	① 巻頭に「学びの地図」を掲載したり、学習を支えるキャラクターを登場させたりして、主体的・対話的に学習が深められるよう工夫されている。 ② 3年生以上では英語の歌を掲載し、外国語に親しむ工夫がされている。1年生ではスタートカリキュラムを意識して教材の配列を工夫している。 ③ 鑑賞の題材では、比べて聴いて話し合う活動など、言語活動を取り入れている。 ④ 「茶つき」では急須や湯呑み茶碗などの写真も載せ、日本の文化を意識した構成になっている。写真や説明文で日本の文化を紹介している。 ⑤ ドレミ風船のイラストが複数ページあり、指を指しながら歌うことで音の高低を感じ取る工夫がされている。伝統音楽を扱う教材では、口唱歌や箏の演奏の体験をする活動が設定されている。 ⑥ 1年生の導入ページでは、これまでに知っているであろう歌を取り上げている。また、巻末で発展的な内容も取り上げている。 ⑦ QRコードがついていて、家庭で動画を見ながら学習することができる。地域の音楽を調べる学習では、調べ方やインタビューの仕方などにも触れられている。 ⑧ 打楽器の持ち方の写真があり、奏法が分かりやすい。文字の大きさやフォントなど、工夫されている。 ⑨ ページの下部に共通事項が示されており、いつも意識しながら学習することができる。
	(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 各内容の分量とその配分は適切である。 ② 軽量化されている。透明シートを使って、オーケストラの楽器や楽譜の理解がしやすいように工夫されている。 ③ ユニバーサルフォントの使用など見やすい配慮がなされている。ただし、高学年の合奏の楽譜は、音符が小さく見づらいものがある。巻末の運指図や資料で確かめながら学習に取り組める工夫がある。折り込みを使った大きな写真があり、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされている。	① 各内容の分量とその配分は適切である。 ② 楽譜や文字の大きさなど、発達段階に応じて設定されている。 ③ 大きな写真があり、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされている。
(イ) 教科・種目別の観点	①「A表現」と「B鑑賞」の教材は、多様な音楽の中から、児童の発達の段階に応じて適切に選択されているか。	① 教材のねらいを生かしつつ、発達段階に応じた教材が歌唱、器楽、鑑賞曲とも選ばれている。 ① 我が国と諸外国の音楽から、様々な時代や曲種のものを選択されている。 ① 全学年に共通の曲が巻末に載せてあり、全校の行事などで演奏することができる。	① 教材のねらいを生かしつつ、発達段階に応じ児童の興味をひく教材が歌唱、器楽とも選ばれている。鑑賞教材も、ねらいに沿って選ばれている。 ① 我が国と諸外国の音楽から、様々な時代や曲種のものを選択されている。
	② 我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材に工夫や配慮がなされているか。	② 日本の民謡を扱うページでは、たくさんの県の民謡が紹介されており、自分の住んでいる地域の民謡に触れることができる。そして、調べ学習を行うことで深めることができるように活動が提示されている。 ② 伝統音楽を扱うページでは、写真を掲載し分かりやすく説明されている。 ② 箏を扱ったページでは、伝統的な縦書きの楽譜が資料として掲載されている。	② 日本の古典芸能について、巻末に資料があり様々な芸能について学ぶことができる。巻頭のスーパー歌舞伎「ワンピース」の紹介など、伝統芸能に興味を持つための工夫がされている。 ② 共通教材では、写真やていねいな解説で、日本の文化を意識した構成になっている。 ② 各都道府県の民謡について、掲載されている。 ② 箏を扱ったページに伝統的な縦書きの楽譜が資料として掲載されている。
	③表現（歌唱、器楽、音楽づくり）及び鑑賞、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	③ 「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」の名称で用いて、教材を関連づけて配列している。 ③ 主要部分と選択可能な部分の、題材としての結びつきが分かりにくい。	③ 音楽を形づくっている要素を中心に、歌唱-器楽-鑑賞、歌唱-鑑賞-音楽づくり等、関連付けて教材が組まれている。複数曲が関連づけて選曲されており、選択することもできる。 ③ 題材のねらいに即した教材の配列になっている。